

東急目黒線の日吉駅への延伸時期が2008年6月に決定

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：越村敏昭）では、このたび、目黒線（目黒～武蔵小杉）の日吉駅への延伸時期を2008年6月とすることを決定しました。これにより目黒線には、新たに元住吉・日吉の2駅（いずれも東横線と共用）が加わり、全13駅、営業キロ約11.9kmの路線となります。

目黒線は現在、東京メトロ南北線（埼玉高速鉄道線まで直通運転）、都営三田線と相互直通運転を行っています。今回の延伸により、2008年3月に開通予定の横浜市営地下鉄グリーンライン（中山～日吉）と日吉駅で接続するほか、2019年には相鉄線との相互直通運転を開始（2007年4月に国土交通大臣から計画が認定された相鉄・東急直通線を使用）する予定で、ネットワークの拡充により利便性がさらに向上します。

当社では、東横線の混雑緩和を図るため、1988年から「目蒲線（現目黒線）目黒～多摩川園（現多摩川）間改良工事および東横線多摩川園～日吉間複々線化工事」を進めており、武蔵小杉～日吉間は2000年4月から工事を行ってきました。今回の目黒線の日吉駅への延伸により、多摩川～日吉間の約4.8kmが複々線化されます。

目黒線の日吉駅への延伸の概要は次のとおりです。

目黒線の日吉駅への延伸の概要

延伸時期	2008年6月
延伸距離	約2.8km
	これにより目黒線は目黒～日吉間、全13駅、全長約11.9kmの路線となります。
新設駅	元住吉、日吉の2駅
	いずれも東横線との共用駅です。目黒線ホームにはホームドアを設置します。

（参考）東横線複々線化工事の概要

都心方面へのルートを増やし、東横線の混雑緩和を図るため、多摩川～日吉間の約4.8kmを複々線化し、目黒線を日吉駅まで延伸するものです。多摩川～武蔵小杉間はすでに複々線化を完了し、2000年8月から目黒線を目黒～武蔵小杉間で運行しています。武蔵小杉～日吉間（約2.8km）は、2000年4月から工事を行ってきましたが、今回、目黒線を日吉まで延伸することにより、日吉～多摩川～目黒～都心方面～埼玉方面（東京メトロ南北線・埼玉高速鉄道線、都営三田線）の直通運転が実施されます。

以上

別紙

